



月度 例会 山行報告書		報告者	神戸和広	参加 メンバー	CL:愛知県山岳連盟 北村指導員(全体) 坂口指導員(グループ) 一般 46名の参加者
個人 個人		報告日	11/04		
山域	鈴鹿	山行日	10年 11月 3日 (水) ~		
山名	朝明・羽鳥峰・ヒロ沢		10年 11月 3日 (水)		


山行目的	地図読みトレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



(こ)





朝明溪谷駐車場・羽鳥峰・ヒロ沢往復帰路林道使用
2.5万分の1地図: 御在所山の地形図

11/3 晴れ
07:00 自宅発
08:30 朝明溪谷駐車場で受付
09:45 説明・指導
10:00 登山開始
11:50-12:00 羽鳥峰
13:00-13:40 ヒロ沢(食事)
14:45-15:05 羽鳥峰
15:45 砂防学習ゾーンで安全指導
16:00 解散
17:45 自宅着

〈山行報告〉

今や休日の日常になった東名阪四日市 JCT からの渋滞影響で開始時間を 45 分遅れてスタートした。名簿によると 46 名の参加でグループは 7 班に分かれた。私の班は先日の読図勉強会で講師の春日井山岳会の坂口氏がリーダーとなり、地図読みの説明が懇切丁寧であった。おかげでいつも最後尾になっていた。班の他のメンバーは全員「やまびこ会?」らしく、さすがにベテランらしく足並みはそろっていたが地図読みは慣れていないようであった。地形図の各チェックポイントでリーダーから解説があり、なるほどこの地形が地図に出ているんだと今更ながら感心した。ただし原寸地図ではルーペが必要な老眼になっています。ヒロ沢の出合いでは、地形図の登山道と違い右岸でなく左岸に渡るのを帰りに忘れて、班全員が右岸へ帰るふみ跡・テープを見落とし左岸側を突き当たってしまった。道迷いをしない訓練なのに反省である。それ以外は、事故なく、天気もよく、紅葉も少し見られてよい山行であった。また全体リーダーの北村指導員もコースの途中途中で指導をいただいて参考になった。上記の配布された 2.5 万分の 1 地図の 2 倍拡大図を使用した(地形のチェックポイントはヒロ沢まで 12 箇所)

〈リーダー所見〉コンパスの 123(1 方向定め, 2 ベゼル合わせ, 3 磁針合わせ)を山行で実践して、今は方向を定めることができるが、継続して体験しないと体に染み付かない。それよりまだまだ低い地図から地形を読み取る能力を向上させたい。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認 (リーダー)
神
10/11/03
戸
作成 (報告者)
神
10/11/03
戸